

[標準様式例 4-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	酒田港整備効果検討業務
業 務 概 要	本業務は、中長期構想で議論されている施設を踏まえ、港湾計画改訂を見据えた整備方針について、直轄事業を実施することによる整備効果について検討するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 酒田港湾事務所長 池田武司 山形県酒田市光ヶ丘5-20-17
契 約 年 月 日	令和1年7月11日
契 約 業 者 名	日本海洋コンサルタント（株）
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区芝浦3丁目7番9号
契 約 金 額	20,240,000円（税込み）
予 定 価 格	20,287,562円（税込み）
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、中長期構想で議論されている施設を踏まえ、港湾計画改訂を見据えた整備方針について、直轄事業を実施することによる整備効果について検討するものである。</p> <p>本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・実施フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と配置予定管理技術者へのヒアリングにより評価を行った。</p> <p>審査の結果、総合的に最も評価値が高位である日本海洋コンサルタント株式会社を契約の相手方として特定した。</p> <p>よって、会計法第29条の3第4項に基づき、日本海洋コンサルタント株式会社と随意契約を行うものである。</p>
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 （ 自 ）	令和1年7月11日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和2年2月28日
備 考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。